

平成29年度

ふじのくに

# グローバル人材育成事業



静岡県教育委員会



SUCCEED IN THE WORLD

— 世界へはばたく —

# ふじのくにグローバル人材育成基金

グローバル化が急速に進展する中で、高校生をはじめとする若者の海外留学や研修等を通じた、「世界に目を向けながら地域社会の発展に貢献できる」人材の育成が求められています。

また、子どもたちの海外に対する知的好奇心を養うためには、国際感覚豊かな教職員による教育も重要です。

静岡県教育委員会では、平成28年4月に「ふじのくにグローバル人材育成基金」を創設し、一人でも多くの高校生や教職員の「海外で学びたい」という希望を実現させるため支援しています。

## — この取組を未来に繋げていくために、皆様の御支援・御協力をお願いします —

### 国際感覚豊かな人材の育成

#### 長期留学・短期留学

高校生が意欲を持って、自ら進んで参加する留学の経費を支援します



### ものづくり県の時代を担う人材の育成

#### 海外インターンシップ

県内企業の海外事業所等における就労体験事業を支援します



### 「グローバルハイスクール」研究

特色のある先進的なグローバル教育を展開する指定校を支援します

### ものづくり世界大会への参加

ものづくり等の世界大会に参加する高校生を支援します

### 教職員の海外研修

海外の教育機関等において、指導力や専門性を向上させるための研究に取り組む教職員を支援します



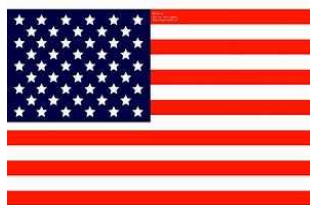
#### 【寄附して下さった企業・団体】（平成30年3月末現在）

（公財）はごろも教育研究奨励会／明産（株）／（株）静岡銀行／スルガ銀行（株）／（株）清水銀行／（一社）静岡信用金庫協会  
／静岡県遊技業協同組合／（公財）日本教育公務員弘済会／浜松バス（株）／日興製菓（株）／富士トラック（株）  
／（株）小林製作所／国際ソロプチミスト駿河／松葉倉庫（株）／ジヤトコ（株）／（有）メディカルアイカイ  
／学校関係団体（高校同窓会、校長協会等）

## 長期留学

静岡県立静岡高等学校 2年

蓬萊 豪太



訪問先：アメリカ合衆国



私がかねてからアメリカの文化や言葉に高い関心があり、留学を通じて深く学びたいと考えていた中で、県が国際化に意欲のある高校生の留学を支援していることを知り応募しました。

英語を日常的に使い習得したい、ホストファミリーや友人との触れ合いを通じて現地の文化を学びたい、日本のことについて現地の人々に知ってもらいたい、住み慣れた静岡を出て異国で暮らすことで自立心を養いたいと考えていました。

交換留学生として現地の高校に通いましたが、「英語を」ではなく、「英語で」生物やアメリカ史などの教科を学ぶ必要があり、慣れるまでは大変苦労しました。

クラスで静岡の魅力や杉原千畝についてスピーチをしたり、日本語クラブに参加したり、ホストファミリーや友達とお互いの文化について語り合ったりなど、アメリカの文化を一方向的に学ぶのではなく、日本についても発信することができたと思います。また、実際に住んで体験してみることで、日本の良いところ、逆にアメリカの良いところというのも肌で感じることができました。



課外活動にも参加し、冬にはボウリングを真剣なスポーツとして取り組み、最後のトーナメントでは2位をとることができました。春には陸上部に入部し、長距離の800mや1600mの対抗戦にも出場しました。部活を通じて友達も増え、充実した毎日を送りました。

今回の留学では2組のホストファミリーにお世話になりましたが、それぞれのハウスルールを経験することも大変良い経験となりました。留学していた10か月余りがあっという間でとても濃い時間だったと感じられます。すべてが自分の成長に繋がったと思います。

このような機会を与えていただき、ありがとうございました。

長期留学・短期留学

高校生が意欲を持って、自ら進んで参加する留学の経費を支援します

## 大学連携

静岡県立藤枝東高等学校 1年

平林 愛梨



訪問先：アメリカ合衆国



私は中学で英語を学び始めた時から、自分と違う視点や考え方を持つ人たちと出会い、英語を通して交流したいと強く思うようになりました。英語を実際に話すことで、今の自分の英語力を試し、英語を学ぶ今後の意欲としたいと思いました。

さらに、このような経験を高校時代にすることで、社会に出て生きていくために必要な力を身につけることができると考え、この事業に参加しました。



留学先のカルフォルニア州立大学サクラメント校での授業では、スピーキングや発表の活動を中心に、英語の授業を受けました。

英語で気持ちや考えを相手に伝えることは簡単なことではありませんでしたが、自分の限られた知識を使って一生懸命伝えました。

常に英語でコミュニケーションを取れる環境は大変魅力的でした。

ホームステイ先は日系アメリカ人の御主人とフィリピン人の奥さんの夫婦二人の家庭でお世話になりました。

途中からは中国からの留学生も加わり、英語でコミュニケーションを取ることでお互いの国の文化や思考の違いを感じることができました。

日本の文化などを伝えるためには、英語力の前に、先ず自分自身が日本について深く知っていなくては説明できないことを強く感じました。



今回の留学で、私は英語力だけでなく、自分の意思を伝えることの大切さを感じ、積極性を養うことができました。また、それぞれの違いを感じ、自分が生まれ育った環境を客観的に考える良い機会となりました。

高校時代に海外渡航の経験をしたことは、知らなかった新しい世界、事柄を知り、多くの人と出会い、五感と心で感じ学ぶことで、今後私が歩いていく人生のかけがえのない財産となりました。ふじのくにグローバル人材育成基金からの支援があったからこそと感謝しています。

長期留学・短期留学

高校生が意欲を持って、自ら進んで参加する留学の経費を支援します

## 短期留学

静岡県立浜松湖南高等学校 2年

笠村 アンナ



訪問先：オーストラリア



私はオーストラリアに留学することで、英語能力だけでなく自分から動くことができる積極性を身に付けたいと思っていました。また、これまで様々な人に頼りすぎてきた自分の弱さを克服したいとも思っていました。

そこで私は、毎日ホストファミリーに自分から話しかけること、分からないことがあったらすぐに聞くこと、前の日に覚えた新しい英単語を日常生活で使うようにすることを、今回の研修で心掛けました。

私には翻訳者になるという大きな目標があるため、これまで中学生の頃から英語の学習に励み、高校生になってからは英語科で自分の目標を達成するために日々英語の勉強に力を注いでいます。

これまで一度も海外へ行ったことがなく、今回は海外で思う存分英語を使うことができる貴重な機会を最大限活用して、新しいことは何でも吸収すると決意しました。



毎日たくさんの英語のシャワーを浴び、自分も全てのことを英語で考えることで自然と会話能力を高めることができましたと思います。そのほかにも、相手との会話を楽しむためには、笑顔や自分から話題を提供することの大切さを学び、自分に自信が持てるようになりました。

今回の研修を通して、英語やオーストラリアの文化を学んだだけでなく、人としても成長できたと思います。これからもこの経験を忘れず、何事にも積極的に取り組み、翻訳家になるという目標を達成したいと思います。

私がオーストラリアに行って貴重な経験ができるよう、一生懸命節約するなどして協力してくれた家族、ホストファミリー、現地の先生方、ふじのくにグローバル人材育成基金を通して支援してくださった方など、本当にありがとうございました。

この感謝は伝えきれませんが、私がこれからも英語の学習に励むことで、恩返しをしたいと思っています。

## 海外インターンシップ

静岡県立吉原工業高等学校 2年

池田 一輝



訪問先：タイ



私は、高校生という多感な時期に、海外での日本企業の在り方や現地での様子を、自分の肌で体感することで視野を広げるとともに、グローバル化が進む現代の生産方法などを知り、これから社会人になっていく私たちに求められる力を学びたいと思いました。

また、日本と海外の文化や環境の違いを知り、「現代において海外が注目され、進出が活発化している理由」を自分なりに見つけ、グローバル化した社会に出た際に、より優れた主体性を持つ社会人になる準備をしたいと思いました。

今回、海外インターンシップに参加できたことは、人生の中でとても意味のあるものになったと思います。臼井国際産業株式会社のタイ工場では、ブレーキパイプの手曲げ加工の実習をするなど、現地の企業や大学を訪問して、様々な体験ができたこととはとても良い経験となりました。



実際に、海外に行くまではとてもハードルが高く、日本との違いが大きいのではないかと感じていましたが、思ったよりも日本とあまり大差はないと感じました。場所によっては日本語や英語が通じないという環境でしたが、ジェスチャーなどを用いて相手に伝えることができ、言葉の壁はあっても、「伝えよう」「理解しよう」という気持ちがあれば、意思疎通ができることを実感しました。

また、日本での当たり前が通用せず、その国の文化や国民性の違いからくるものがたくさんあり、視野を広げてもっと海外のことを知っていく必要があると感じました。

この機会を与えてくださった各関係者の皆様、ふじのくにグローバル人材育成基金を通して支援してくださった皆様、本当にありがとうございました。

普段経験できないことをたくさん学ばせていただき、自分の視野を広げることができました。県内の企業が持つ魅力や可能性は無限に広がっています。いつか自分も静岡県に貢献していける一人になればいいなと思います。

今回得た経験そして出会いを、これからの生活に役立てていきたいと思っています。

## ものづくり世界大会

静岡県立沼津工業高等学校

3年 松本 武  
2年 吉野 香菜  
2年 青木 瞭磨

～ロボカップ世界大会～  
(開催地：日本)



私達はロボカップ世界大会に日本代表として出場しました。昨年、同大会に参加した本校の先輩方の果たせなかった世界制覇を目標に、私達もふじのくにグローバル人材育成基金の支援をいただいて世界大会に挑戦しました。



世界大会では、実機の使用（国内全国大会までは不使用）や英語によるインタビュー、制限時間が短いなど、今大会で初めて経験することも多く不安もありました。

試合前に行ったインタビューでは、英語で技術面を重点的に聞かれ、自分たちの英語力の低さを痛感しましたが、チームメンバーで互いの英語の補足を行うことや、ジェスチャーなどを用いることにより、何とか意思疎通を取ることができました。

個人競技（テクニカルチャレンジ）では、競技中に用意したプログラムにバグを発見し、修正することに時間を費やしてしまい、得点を伸ばすことができず悔しい思いもりましたが、大会を楽しむことができました。

合同競技（スーパーチーム）では、私たちのチームを含めた3チームで構成しました。3チームが主に英語を使ってコミュニケーションを図りました。伝えにくい英語などはプログラムを見せるなどして説明し、それぞれのチームのプログラムの入った1つのプログラムを作成することができました。世界2位という結果になり、努力が報われた思いがしました。



世界大会に参加する貴重な機会を支援してくださったふじのくにグローバル人材育成基金に大変感謝いたします。

応援してくださった方々への感謝を忘れずに、グローバル化が進む世界で活躍できるよう頑張りたいと思います。

ものづくり世界大会等への参加

ものづくり等の世界大会に参加する高校生を支援します

## 教職員海外研修

浜松市立上島小学校教諭  
久米 優子



訪問先：イギリス



次期学習指導要領で小学校における外国語教育が大きく変化します。そこで、英語を母語としない子供たちに対して、母語を尊重しながら「外国語」としての英語を、どのような指導法や効果的な教材を扱って身に付けているかを具体的に理解することで、日本の外国語教育に生かすことができると考え、研修先をイギリスに選定しました。

また、学校制度や学校経営、先進的なICT教育の状況について理解を深めることで、今後の教育活動に生かしたいと考え、地域としての語学教育の実績もあり、支援している有力大学があるケンブリッジ市の学校2校(Bar Hill Community Primary School, Spinney Primary School)に訪問しました。



英語教育では、ICTも積極的に活用し、音と映像、絵本、教室に色とりどりに張り巡らされた掲示物等を活用して、豊富に言語環境が整備されていました。教師は、英語力が不十分な子供に対して、繰り返し同じ表現を語りかけ、耳と目から同時に理解が進むような工夫や、低学年では、歌や身体表現を交えて言語に触れるような活動を行い、楽しく英語に親しむ工夫がされていました。

また、各学級に配置されている支援員が、学習の苦手な子供に対してきめ細かな指導を行っていました。

イギリスという「英語」を想像していましたが、実際に学校を訪問してみると他言語の子供たちが多く在籍しており、学校もそれに応じた支援を積極的に行っていました。子供たちに英語を身に付けさせるために、ICTを豊富に取り入れ、低学年では身体表現を使った活動、高学年では映画や物語を教材とした授業等、発達段階に応じて学習内容を工夫していることが分かりました。

また、学習の規律が日本よりかなりしっかりとしており、人の話は黙って聞く、やるべきことは最後まできちんと行うなど、徹底した指導が印象的でした。そして、学習に困難を抱える子供に対しては、担任と支援員、ボランティアが連携してきめ細かな支援を行っていたのも魅力的でした。

今回の研修を通して、イギリスの学校制度や英語教育に関するICTや絵本、多くの教材を知ることができ、非常に実り多い研修となりました。

この学びを、校内だけでなく地域の学校とも共有するため、研修成果を広めていきます。

本事業に御協力・御支援いただいた全ての方々に心から感謝いたします。

教職員の海外研修

海外の教育機関等において、指導力や専門性を向上させるための研究に取り組む教職員を支援します



## グローバル人材育成事業概要

区 分		内 容		H28実績	H29 実績
国際感覚豊かな人材の育成	高校生の海外体験促進 (留学)	長期留学	海外の教育機関等で語学などの専門分野の留学を体験 【期間】1年程度 【補助上限】30万円	5人	6人
		県内大学と連携した留学	県内大学と連携して、大学が実施する各種留学・語学研修等に参加 (H29留学先) カルフォルニア州立サクラメント校 【期間】1か月程度未満 【補助上限】30万円	5人 +引率1人	10人 +引率1人
		短期留学	学校、市町、NPO等の民間が実施する語学研修、ボランティア活動等に参加 【期間】1か月程度未満 【補助上限】30万円	23人	43人
	教職員の海外研修	教職員が海外での教育機関等で専門分野や現代的な課題の研究等を実施 【期間】1か月程度未満 【補助上限】50万円	6人	8人	
	グローバルハイスクール	学校の特徴を生かした課題研究を中心に、海外の大学や研修機関等と連携してフィールドワーク等を実施する学校を指定 【指定期間】3年 【補助上限】300万円	2校37人 掛川西日大三島	3校108人 掛川西日大三島 浜松開誠館	
ものづくり県の次代を担う人材の育成	海外インターンシップ	○県内企業の海外工場における就労体験等を実施 (H29研修先：6社) ヤマハ(中国)、ヤマハ発動機(台湾)、 臼井国際産業(タイ)、ジヤトコ(タイ)、 天野回漕店(中国)、うなぎいも協同組合(台湾) ○芸術分野の海外施設における職場体験等を実施 (H29研修先) 美術館、美術大学等(シンガポール)  【対象】専門高校等の生徒 【期間】国内(2日間) 海外就労体験(3泊4日) 【県実施】全額県負担	15人 +引率3人	43人 +引率8人	
	ものづくり等の世界大会	ロボット競技等のものづくりに関する世界大会へ参加 【対象】専門高校等の生徒 【補助上限】30万円(国内開催の場合は10万円)	2人	3人	
合 計				97人	230人